

誓いの言葉

本日は、新型コロナウイルスが猛威を振るう中、このような素晴らしい式を挙げていただいたこと、新入生一同心より感謝申し上げます。

春の日差しが心地よい、今日のこの佳き日に、宮崎県立看護大学第26期生として入学できましたことは、私たちにとって大変大きな喜びです。また、先ほど平野学長から頂きました温かいお言葉をしっかりと心に刻み、私たちが抱く大きな夢に向かって日々前進してまいります。

今日、日本全国で感染症の拡大により私たちが学ぼうとしている看護のニーズが急増し、高度な専門知識や技術が求められます。また、国外では戦争が行われ、多くの命が失われています。そんな時代に私たち26期生は命と常に向き合っていく看護師になります。4年間を通して「命の大切さ」、「人としての生き方」を理解し、患者様や医療関係者から頼りにされる看護師になることを決意します。

今私たちは、スタートラインに立ち緊張と不安、そして期待を感じています。今日のこの気持ちを忘れることなく、共に歩み始める仲間とともに、夢の実現に向けて、自己啓発に努めていくことを約束します。最後に、これから出会う方、支えてくれる方への感謝の気持ちを忘れず、宮崎県立看護大学の学生としての誇りと責任を自覚して、精進していくことを決意し、誓いの言葉といたします。

令和4年4月5日

新入生代表 松田 聖蓮